

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市富沢遺跡保存館（地底の森ミュージアム）
2	指定管理者	公益財団法人 仙台市市民文化事業団
3	指定期間	平成29年（2017）4月1日～令和4年（2022）3月31日
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 38,729人（前年度比 95.2%） 平成29年度 40,698人 平成28年度 48,930人 平成27年度 41,168人</p> <p>《事業》 富沢遺跡の保存・公開事業、旧石器時代の復元林の維持管理・公開事業、年4回の企画展を含む展示事業、普及啓発事業、調査研究事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p style="text-align: right;">（ ）は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 103,499千円 （100,447千円） ・ その他市が負担した費用 1,914千円 （1,249千円） <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 6,703千円 （8,137千円） ・ その他収入 192千円 （153千円）
6	利用者の声	<p>《実施状況》 通年で来館者に対してはアンケート協力を依頼し、集計結果は「地底の森ミュージアム・縄文の森広場年報2018」に掲載した。また、頂いたご意見に対しての回答を館内に掲示している。そのほか12月1日～24日の期間、来館者全員に用紙を配付し、展示や事業内容、職員の対応等についてのアンケートを行った。学校や専門家などによる様々な意見を伺う運営懇談会を2回開催した。</p>

二 管理運営に係る評価

（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立されており、旧石器時代を中心とする遺跡の保存公開と復元林の維持活用等について職員に十分理解されている。また、展示事業や普及啓発事業、資料の積極的な収集・保管、調査・研究等を通して本市の歴史文化の保護・向上といった目的を十分達成している。	27/27
II 施設の運営管理体制	職員の勤務実績及び配置状況は適切であり、開館状況及び指定管理料の執行状況も適正である。また、個人情報の保護に対する体制や情報セキュリティ対策も適正である。事故防止のためのマニュアルを作成し、毎朝の職員打ち合わせで適宜事故防止策や対応について周知徹底しているほか、災害時の防災用品や食糧を一定数量備蓄している。	24/24
III 施設・設備の維持管理	建物や設備が適切に管理され安全性が確保されており、利用者が快適に利用できる状態が保持されているとともに、仙台市環境行動計画に則り省エネ・リサイクルに努めている。地下展示室の遺構保存については、専門家を加えた保存処理検討会の指導を受けながら、各種分析や補修等を行い、適切に管理している。野外展示である植生についても、植生検討会の指導を受けて樹木の生育調査を実施し、「氷河期の森」として2万年前の森の様子を復元し、樹木等の経年による更新や外来生物・害虫の駆除などを実施して良好な状態の維持に努めている。	24/24
IV サービスの質の向上	職員の接客マナーや受付状況は良好であり、ホームページやフェイスブック、紙媒体のパンフレット等のほか、コミュニティFMラジオによる情報の積極的な発信を行っている。利用者アンケートで寄せられた苦情への対応については、回答を館内に掲示し、職員全体で接客改善に努めている。	28/28

V	施設固有の基準	<p>協定書や仕様書等に基づき適切に施設を管理するとともに、事業計画書どおりに適切に事業を運営している。また、大学等の外部機関との連携による事業展開を行うとともに、学校・市民センター・地域住民と協力してイベントを行い、地域社会と良好な関係を維持している。</p> <p>なお、以下2件の自主事業について加点評価する。</p> <p>1) 自主事業「親子でつくろう古代米」(5/11～9/28) この事業の優れた点は、主に下記4点に集約される。①土地所有者、近隣住民、近隣学校との良好な関係の上に成り立つ地域連携事業であり、開催日にとどまらず、水稻の生育状況が紐帯となり、季節をまたいで地域や館利用者に対して事業効果が及ぶこと。(地域の話づくりに一役買っていること。) ②親子共同での環境学習・歴史学習・生活学習の機会を提供できるまたとない事業であり、学習効果・満足度ともに高いこと。 ③子・孫世代の児童が参加することにより、親や祖父母世代を巻き込んだ来館につながる高い普及効果があること。また、事業の恒例化により参加児童の学年を超えて施設に対する愛着が醸成されること。 ④イベントに参加していない利用者等に対し、成果物である古代米や稲わらを通じた波及効果があること。</p> <p>2) 自主事業「ミュージアムシアター 狩人登場」(5/26～3/3) 遺構にのこされた焚火や石器づくりといった人類活動の痕跡の存在を、来館者に対して実際のかつ印象的に示すことができる展示となっている。実施時期は限られるものの、夏休み期間などに出現頻度を高める工夫を行っている。文字を媒介としない展示手法として世代を問わず効果的であり、特に児童に人気がある。</p>	15/14
---	---------	---	-------

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
<p>加点評価</p> <p style="text-align: right;">—</p>	

四 評価総括

《指定管理者（仙台市市民文化事業団）による自己評価》
<p>施設の管理運営に当たっては、所管課と協議しながら協定書等に基づき適切に行った。施設の老朽化が目立ってきたため、遺跡保存環境の整備に不可欠な空調機器や来館者が利用する共用部、展示映像機器の修繕を重点的に行い、施設の安全性を高め長寿命化を重視した管理を心掛けた。また専門家に指導をいただき、地下展示室の遺構保存処理、野外展示の維持管理に努めた。5月には韓国の東アジア考古学研究所からヨンチョン旧石器祭への学芸員招聘、10月・11月・12月には埋没林や遺跡保存に関する発表依頼3件があり、当館活動について外部から高い関心と評価を得た。</p> <p>展示事業は、特別企画展1回と企画展3回を開催した。調査研究事業は、その成果を調査研究報告2018にて報告した。普及啓発事業は、考古学講座、たのしい地底の森教室、地底の森フェスタ2018のほか、新規に富沢ゼミを開催し、事業団自主財源事業として7件実施した。学校連携は利用学習を中心に、修学旅行や遠足等利用校の展示案内、地元高校との協働、在仙大学生に館事業をサポートしてもらう活動等も行った。学校利用数295校6,271名(市内80校3,287名・利用学習22校1,414名)。生涯学習では市民文化財研究員やボランティアの育成、地域活性化に貢献するため地元商店街や商業施設への協力、町内会での講話等も積極的に取り組んだ。SMMACクロスイベントとして、東北大学総合学術博物館・みちのく博物楽団と協力し、化石に触れて学ぶ体験教室も実施した。</p> <p>今後も地域との連携・協力を強め、地域に根差した事業を推進する。また他の博物館施設や大学等の研究機関、事業団各部署との連携を図り、先史遺跡の公開・活用施設として新たな試みを続け、事業展開を図っていく。そして、富沢遺跡の価値を発信し、地域の歴史や文化財に親しむことのできるミュージアムを目指し、仙台市の文化行政の一端を担っていきたい。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>①遺跡管理においては、温湿度や塵埃等の日常管理と詳細な観察を基礎とし、発生事象への対応と予防措置について遺跡の状態を踏まえ適切な判断により処置を実施している。地下土壌と連続した遺跡をそのまま露出保存する施設の特徴を支える活動であり、貴重な遺跡の保護と価値の向上につながっている。</p> <p>②展示・展覧会については、考古学的なテーマについて親しみやすい切り口を設定し、地域の歴史と文化を紹介しており、展覧会ごとによりわかりやすい解説と展示に努めたことで、市民の教養の向上に資するものとなった。栗原市入の沢遺跡など最新の発掘調査成果も取り上げたことから、高い関心が寄せられた。研究報告では、遺跡保存における藻類処理実験結果について報告した。調査研究においては、遺跡保存における藻類処理実験結果について研究報告を行った。全国的にも先進的であり、かつ有効な取り組みである。</p> <p>③普及啓発面では、多くのボランティアが活発な活動を行っており、施設に親しみを持ちながら、活動内容にやりがいを感じて頂いている。展示解説や体験学習の補助を中心とした多岐にわたる活動は来館者から好評を得ており、施設運営に不可欠な存在として魅力向上に貢献する所が大きい。施設は、こうした活発な市民活動の拠点となり、ボランティアと相互にサポートし合う互惠関係を築いている。</p> <p>④学校連携や多様な学習機会の提供について、地域の各世代に向けて様々な機会を捉えて連携による学習支援を行っている。小中学校の社会科学習との関係はもとより、生涯学習についても学習機会の提供や支援を行っており、社会的ニーズの高まりに対応しながら、郷土の歴史・文化に対する理解を深めることにつなげている。仙台市の学校教育・生涯学習施策と合致する活動であり、高い水準で継続的に実施している。</p>	S